

第11回 校内研修

令和8年2月16日(月)
15:30～ 4年松組教室

研修主題 「主体的に考え表現できる児童の育成」
～ 対話的な学びの場を工夫した授業実践 ～

- 1 開 会
- 2 校長あいさつ

3 協議

校内研修のまとめ(大塚)

①4月14日(月)	研修主題を決める
②5月26日(月)	「小幡の学び」「小幡小メソッド」について
③6月9日(月)	指導案作り
6月20日(金) 計画訪問	
④6月30日(月)	1人1授業について、計画訪問報告会
⑤7月25日(金) 要請訪問	講義「主体的に考え表現できる児童の育成」～対話的な学びの場を工夫した授業実践～
⑥9月8日(月) 要請訪問	道徳の授業の参観 研究会
⑦10月22日(水) 要請訪問	1人1授業の参観 研究会(指導・助言をいただいた)
⑧11月17日(月)	エピペン講習会(金井先生)
⑨12月15日(月)	情報交換(三田先生)
⑩2月2日(月) 要請訪問	総合と道徳の通知表と要録の書き方について
⑪2月16日(月)	まとめ

◆今回「対話的な学びの場を工夫した授業実践」では、主に2点を中心に取り組んだ。

1つめは、目的をもった対話的活動。目的を持たせるために、「単元のめあて」、「単元計画」を児童とともに作っていました。さらに、対話的活動に入る前に、「何を話し合うか」という目的(視点)をしっかりと児童がわかるような手立てをしていた。

2つめは、対話を活発にするための環境設定です。まず、児童が意見を持てるように選択肢やPC(主にロイロノート)の活用。対話内容が視覚的にもわかるように、PCだけでなく、ホワイトボード、模造紙、付箋紙等の利用。さらに対話を活発にするために、資料や具体物の用意。様々な手立てを講じて取り組んでいた。

◆要請訪問を利用して、「指導案の書き方」「道徳の授業の仕方」「道徳や総合の所見の書き方」等について学んだり、「校内研修のテーマについての講義」や「道徳の授業」から大切なことを共通理解したりすることができた。

◆1人1授業の参観とその授業研究会での話し合い、各自行った研修の情報交換により、スキルアップできた。

最後に「学校を楽しむ」が本校のキーワードだったので、「学ぶことが楽しい」授業を目指しながら、先生方自身が「学ぶことが楽しい」研修であったら幸いです。

4 その他

5 閉 会